



(BELLKUTE FLOWABLE)

登録番号 第19884号

種類名 イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤
iminocadine tris (albesilate)

性状 白色水和性粘稠懸濁液体

有効年限 4年

有効成分 イミノクタジンアルベシル酸塩 30.0%

PRTR 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (PRTR・1種) 30.0%
1-ドデカノール (PRTR・1種) 3.7%

毒性 普通物 (毒劇物に該当していないものを指していう通称)

包装 500ml×20本、5ℓ×2本

■特長

- 幅広い抗菌スペクトラムを有し、多くの病害に対して優れた予防効果があります。
- 無人ヘリコプター散布の登録を有し、散布作業の省力化がはかれます。
- 細胞膜機能およびDMIとは異なる作用で脂質合成を阻害します。他剤と作用点が異なるため各種の薬剤耐性菌に対しても高い効果があります。
- 粉立ちがなく、薬剤の計量が簡単です。また作物の汚れも目立ちません。

■適用病害名及び使用方法

(2017年9月27日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	使用方法			
りんご	斑点落葉病 黒星病 輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病	1,000～ 1,500	200～ 700	収穫前日 まで	6回以内 ただし 開花期以降 散布は 3回以内	8回以内 〔液剤および水和剤 は合計6回以内 (開花期以降 は3回以内)、 塗布剤は2回以内〕	散布			
	黒点病	1,000								
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病 うどんこ病	1,500	200～ 700	収穫14日 前まで	5回以内	5回以内 〔塗布剤は2回以内、 液剤は1回以内〕	散布			
	灰色かび病	1,000～ 2,000		収穫前日 まで	3回以内	3回以内		無人ヘリコプター による散布		
みかん	貯蔵病害 〔青かび病〕 〔緑かび病〕	10	4	収穫3日 前まで			3回以内		3回以内	散布
		20	8	収穫前日 まで						
		1,000～ 2,000	200～ 700	収穫前日 まで						
かんきつ (みかんを除く)	貯蔵病害 〔青かび病〕 〔緑かび病〕 黒腐病	10	5	収穫3日 前まで	2回以内	2回以内	散布			
		20	10	収穫前日 まで						
		貯蔵病害(黒腐病)	1,000～ 2,000	200～ 700				収穫前日 まで		
そうか病 貯蔵病害(軸腐病)	1,000									
かんきつ (みかんを除く)	幹腐病 そうか病 貯蔵病害(軸腐病)	1,000～ 2,000	200～ 700	収穫前日 まで	2回以内	2回以内	散布			
		1,000								

殺菌剤 ベルコートフロアブル

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	使用方法
小粒核果類 (うめ、すももを除く)	灰星病	2,000	200～700	収穫30日前まで	3回以内	3回以内	散布
すもも	収穫3日前まで						
うめ	黒星病 灰色かび病 すす斑病	収穫30日前まで					
おうとう	灰星病	1,000～2,000		収穫7日前まで	2回以内	3回以内 [休眠期は1回以内]	
もも	灰星病 黒星病	1,500～2,000	収穫前日まで	2回以内		2回以内	
ネクタリン	ホモプシス腐敗病		1,000	収穫14日前まで	3回以内	3回以内	
くり	実炭疽病	1,000	100～300	収穫28日前まで	5回以内	5回以内 [種子粉衣は1回以内、無人ヘリ散布は2回以内]	
キャベツ	菌核病			収穫14日前まで	2回以内		
にんじん	うどんこ病 黒葉枯病 菌核病	8	2	収穫14日前まで	2回以内		
	斑点病						
かぼちゃ	うどんこ病	1,000	100～300	収穫7日前まで	4回以内	4回以内	散布
らっきょう	灰色かび病				5回以内	5回以内	
たまねぎ	灰色腐敗病 小菌核病			4回以内	4回以内		
すいか	炭疽病			5回以内	5回以内		
メロン	菌核病 うどんこ病 つる枯病			7回以内	7回以内		
きゅうり	菌核病 褐斑病 炭疽病 黒星病	2,000	100～300	収穫前日まで	3回以内	3回以内	
なす	灰色かび病 うどんこ病 すすかび病 黒枯病				7回以内	7回以内	
トマト	灰色かび病 葉かび病	2,000～4,000	4,000	2回以内	2回以内	2回以内	
ミニトマト	うどんこ病 すすかび病 斑点病	4,000			2回以内	2回以内	

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	使用方法
いちご	炭疽病 輪斑病	1,000	100～300	育苗期(定植前)	5回以内	10回以内 〔育苗期は5回以内、 本圃では5回以内〕	散布
	うどんこ病	2,000～4,000		収穫前日まで(生育期)	5回以内		
	灰色かび病 炭疽病 黒斑病	2,000					
やまのいも	炭疽病	1,000	3	収穫7日前まで	5回以内	5回以内 〔種いもへの処理は1回以内、 無人ヘリ散布は3回以内〕	無人ヘリコプターによる散布
	葉渋病	12		3回以内			
やまのいも(むかご)	青かび病	200	—	植付前	1回		1回
だいず	紫斑病	6	0.8	収穫7日前まで	4回以内	4回以内 〔種子粉衣は1回以内〕	無人ヘリコプターによる散布
		12	1.6				
	子実汚斑病 腐敗粒	1,000	100～300				散布
茶	炭疽病 新梢枯死症 輪斑病	1,500～2,000	200～400	摘採21日前まで	2回以内	2回以内	
アスパラガス	斑点病	8	1.6	収穫14日前まで	5回以内	5回以内	無人ヘリコプターによる散布
	褐斑病	1,000	100～300				散布
チューリップ	褐色斑点病			発生初期	8回以内		
アイリス	青かび病	100	—	植付前	1回	8回以内	10分間球根浸漬
		200					30分間球根浸漬

△ 効果・薬害などの注意

1. 使用の際は、容器をよく振ってから使用してください。
2. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
3. 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
4. 5℃以下では増粘あるいは固化により、容器から取り出しにくくなることがあるので、50℃以上の湯に容器の肩まで浸し、1時間以上経過した後、室温まで放置し、よく振ってから使用してください。
5. おうとうに使用する場合、着色期の散布では薬害(着色障害)が生じるおそれがあるので使用しないでください。
6. りんごの落花直後から落花後25日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。
7. 西洋なしの品種ル レクチエではさび果を生じるので使用しないでください。
8. 缶桃14号などの缶詰用品種のももでは葉に薬斑を生じるので、かからないように注意してください。
9. かきの品種西村早生では葉に薬斑を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。
10. 幼果期のメロン、ばらに対して薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。
11. キャベツに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤混用にあたっては事前にその適否を確認してください。
12. やまのいも(むかご)に使用する場合、種いも(やまのいも)を浸漬処理してください。

13. チューリップに使用する場合、花卉に薬害が生じるおそれがあるので、出蕾期以前に使用してください。
14. 蚕に対して毒性があるので、桑にかからないように注意して散布してください。
15. 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節してください。
16. 無人ヘリコプターによる散布を行う場合には、次の注意事項を守ってください。
 - (1) 散布機種 of 散布基準に従って行ってください。
 - (2) 散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - (3) 散布中に薬液の漏洩がないよう、事前に機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - (4) 散布薬剤の飛散によって他の動植物などに影響を与えないよう、散布区域の選定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
17. 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
18. 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意 

19. 誤飲などのないよう注意してください。
20. 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
21. 薬液調製時および使用の際は保護メガネ、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
22. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。

水産動植物への影響：水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密栓し、直射日光をさげ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。

-
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤などで消火に努めてください。
 - 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収してください。
 - 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
 - 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。空ビンには圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。